

ミートコンパが(株)どん・鶴ヶ島工場を取得、加工事業を継承

(株)ミートコンパニオン(略称MC、阿部昌史社長)は1日、(株)どんの鶴ヶ島工場を取得し、同工場における加工事業を継承する、と発表した。鶴ヶ島工場(埼玉県鶴ヶ島市柳戸町)は、土地面積8129平方mに鉄筋コンクリート造陸屋根2階建延床面積4617・93平方m(2階面積2259・25平方m)。同社では、首都圏内における365日稼働するMCグループの新たな食肉加工生産基地として、これまでどおり「ステーキのどん」や「ホルクス」への商材供給と合わせて、業務用や外食向けとなる食肉加工の製造工場として、従来にも増してよりよい品質と安全な食肉製品の製造に傾注していく。MCの担当部門はフードサービス部営業課(042) 526-3451。

3月豪州産対日輸出、牛肉が22%減で2万トン台、チルド大幅減
豪州農水林業省が2日公表した3月の豪州の食肉輸出数量(船積み数量)の

速報によると、食肉の総計は12万4223トンで前年同月比0・8%の減少となった。これを畜種別にみると牛肉が8万3373トン(同4・6%減)でチルドは2万2461トン(同12・9%減)、マトン8123トン(同18・1%増)、ラム1万5899トン(同20・5%増)、やぎ1805トン(同3・%減)、豚肉1501トン(同15・1%減)、内臓類1万3522トン(同4・1%減)など、羊肉関係を除き前年を下回った。とくに牛肉のうちチルドが2ケタの減少となった。

このうち対日向け輸出数量をみると、牛肉は2万5028トン(前年同月比21・4%減)と大幅に前年を下回り、このうちチルドビーフは前年同月に比べ23・1%減の1万1133トンと前月に続き激減した。このほか対日向けは、マトン362トン(前年同月比50・6%減)、ラム606トン(同34・3%減)と半減した。内臓類は2008トン(同19・0%減)など各畜種とも大幅に減少していることが特筆される。

12.3月の船積み数量

単位:トン

主な輸出先国	牛肉	うちチルド	マトン	ラム	やぎ	豚肉	内臓類	合計
日本	25,028	11,133	362	606	12	23	2,008	28,038
(前年比)	78.6	76.9	49.4	65.7	30.0	287.5	81.0	77.9
韓国	7,921	2,457	67	161	39	0	1,865	10,054
(前年比)	47.8	63.3	101.5	109.5	100.0	-	106.4	53.8
台湾	3,185	638	668	86	334	0	345	4,617
(前年比)	89.2	103.6	214.1	57.3	174.0	-	172.5	104.4
米国・東部	19,584	2,145	259	2,254	599	0	301	22,998
(前年比)	185.9	104.0	121.6	114.6	71.7	-	362.7	168.7
米国・西部	7,201	787	91	1,302	137	0	60	8,791
(前年比)	144.8	108.4	66.9	79.5	43.8	-	150.0	123.8
EU	1,025	961	254	807	0	0	71	2,156
(前年比)	105.8	113.9	123.9	86.0	0.0	-	197.2	100.2
その他・計	83,373	22,461	8,123	15,899	1,805	1,501	13,522	124,223
(前年比)	95.4	87.1	118.1	120.5	96.5	84.9	95.9	99.2